



クラブ 会報

CLUB BULLETIN (WEEKLY)

鶴岡ロータリークラブ

TSURUOKA ROTARY CLUB

D-253

創立 S 34.6.9

承認 S 34.6.27

例会場	鶴岡市馬場町	物産館3階ホール
例会日	毎週火曜日	12:30 - 13:30
事務所	鶴岡市馬場町	商工会議所内
	電話	0235 (2) 5775

会長	三井	健助
幹事	山口	篤之郎
会報委員	穂光	一雄
	新田	幸雄
	安嶺	定助
		光吉

No., 1012 1979.6.19 (火) (雨) No., 49

ウインター紹介

佐藤成生君	金物配布	} 鶴岡西R.C
林権之助君	電気器具販売	
斎藤吉雄君	管材配布	

ゲスト

朝二小校長 鈴木篤宗氏、石川昭次教諭、三井直弥君、大嶋成希君、早坂妙子さん、北優子さん。

会長・幹事報告

三井 健君

さる6月12日、今年度最後の第6回クラブ協議会を開催し、その内容については、今年度の反省を主として、新年度の計画を検討し、又色々と反省点があ

REACH OUT...

手をさし伸べよう...

りましたが、新年度の委員会に引き継ぐべき事項につき合同協議会を開き、その後台中港区R.Cの陳さんの歓迎会を催した。

山口 篤之助君

1. 例会時間・場所変更のお知らせ
 - (1) 温海R.C クラブ協議会の為
とき 6月25日(月)PM6:00
ところ 越後屋旅館
登録料 ¥ 3,000
 - (2) 鶴岡西R.C 例会場工事の為
とき 6月22日(金)
ところ 長山亭
2. 会報到着
 - (1) 石巻R.C

◆ 会員・ゲストスピーチ

青少年委員 石井敬三君

今年は、国際児童年ということで、テレビ等であまり聞き慣れないメロディーが、始終聞かれます。私も、何回もあるものですから、青少年委員会の関係上、何か考えなければならぬ。そういうことで、国際児童年とは、何の為かということで役所に行って調べてまいりました。

ご存知の方もたぶんおられると思いますけれども、国際児童年とは、1959年11月20日、国連で、児童権利宣言というのが採択されました。それから20年経過しています。

その間、何をやったかということは別に無いんですが、20年も経過したものですから、一応、国際児童年として、一区切りをうちたい、そういうことがあって、国連で各国に児童福祉について色々報告しなさいと、そういうことがありまして、各県に呼びかけているのです。

そういうようなことで、山形県でも、実際予算のともなうもので、米沢なんかでは児童公園を作るとか、そのように、実際活動をやっているわけで、庄内地方としては特別なことはやっていない。

庄内地方では、大きな看板に「わが子への愛を全世界の子に」とか「21世紀をまわせ子ども達」とか、そのような色々なスローガンが掲げられて、一般の方が国際児童年に対する認識、それから児童、児童をめぐる環境、児童の将来、そうしたことについて呼びかけをしています。

先程申しましたように、青少年委員会に何かやるべしと、ただ今年も2回の例会の時間しかないので三井先生と相談をしまして、何か、子どもさんから大人に対する話をしてもらったらどうかと、そんなことでした。

それで、今日は子どもさんにおいでいただいたいたわけですから。一応学校長さんか

ら、子どもから大人への提言ということで、何らかの話をしていただければと、お話ししてありますので、よろしくお願い致します。子どもさんの環境について一番よくご存知になっております、二小の校長先生もいらしていただいておりますので、まとめてお話しを伺いたいとそうように考えております。

◆ 国際児童に因んで

鈴木篤宗氏

私がこれからお話ししますことは却って子どもよりも校長の内容が無いぞというような御批判もあるかとおもいますが、簡単に私が常日頃考えておりますことを申し上げたいとおもいます。

ここに入ってまいりますと、国際児童年に因んでということを書かれておりますけれども、そのような大げさなことを、ひとつまとめて10分間でお話しすることはできませんし、それで、私が教員生活を長いことやっておりますので、それで最近の子供を学校長としては、どういうふうに見ているかということについて、これから申し上げたいと思います。

過日、本町一丁目のある商店に私が入りました。その商店にはおもちゃとか、いろいろなものを売っている。そうしてお客様も十数名おります。その所にお母さんが、だいたい30才前後の人だと思いますが、5つか6つの男の子を連れて入ってまいりまして、私は用を足したので帰ろうと思った。ところが、その子はお母さんと色々話し合っていた。

それで、その内容を聞いてみると、なんだかちょっとこれはおもしろいというようなわけで、すぐ側では悪いと思い、少し5m位い離れて、そのお母さんと、子どもの話し合いを立ち止まって聞いたわけですが、ところでその子どもの要求としては、そのおもちゃの自動車を買ってもらいたい、こういう要求です。

お母さんは「そんな自動車は家には、もう3つもあるでしょ」——「貨物自動車もあるし、いろいろ自動車が3つも4つもあるじゃない、買わなくとも、あれで充分でしょ」というようなことで眺めておった。ところで、その子どもは、目についたのは消防自動車の、はしご車でした。どうしても、そのはしご車が欲しいということで、再三お母さんにねだっておったようです。ところがお母さんは依然として、その子どもの言うことを聞きません。そうして私が考えるには、若い乍らにして、さすがに偉大なお母さんだなあ、このお母さんはなかなか見上げたお母さんだということで私はそこで、立ち止まっておりました。

ところで、お母さんの何回もの、なだめに子どもは応じません。今度、子どもは寝そべって大声で、子どもは買ってもらいたいとお母さんに要求するわけです。大声でもって泣きわめいてお母さんにせまったわけです。そうすると、お母さんはどういう態度を取ったかということ、あっちこっちのお客さんをじろっとみると、そしてやっぱりここで買ってあげなければ親のメンツが無いとい

うようなわけで、やっぱり買い与えてあげたようでした。

やっぱり、先程は偉大なお母さんだなと思ったところが、やっぱり今のありふれたお母さんだなという、結論に達したわけです。そのようなことは、私が出くわした一つの問題ですけれども家庭の中、或いは学校の中においても数多くのこのようなケースというのが、存在しております。

そこで考えることは、現代の子どもはいったいどのような特質を持っているのか。第1番目に私が考えることは、非常に感情がたかぶるということ、昔のように、自分を押えて喜怒哀楽を出さない、感情を押さえる。そのような点については、現代の子どもは自分の感情を表に表わすということが特徴じゃないだろうかということを私は受け止めております。いろいろの事例がございますが、まず割愛しまして先ず第1番目に、感情がたかぶっているということは、私のとらえ方でございます。

第2番目には、欲望というものが非常に多くなっていること。これが一つの特質じゃないだろうかとは私は考えております。先程のお話してあったように、昔の場合であったならば、子どものおもちゃとした場合には、1台の自動車のおもちゃでも、満足しておったはずで。ところで、家に3台も有るにもかかわらず、4台も5台も6台も欲しいというのが現実の子どもでは無いでしょうか。しかも、こういうものが自由に買われる、品物が豊富なこの現代であるということ考えた場合においては、非常に子どもというのは、欲望が多くなってゆく。こういう事を私は考えます。

それで、ここに来る前に子ども達が現在、6年生の子供がどのようなものを持っているか、ということ調べてまいりましたので、ちょっと申し上げたいと思います。これは学習に関係の無いもの、所謂自分の遊びとして持っているもの、どんなものがあるか。これは1クラス35名です。

ステレオ、これは個人で、共用ではありません。6年生の子どもの特定のものです。共用ではありません。ステレオ、10万円以上するもの1名、それからカセットラジオつきは、だいたい3万円しますけれども19名ございます。35名のうち19名。

学習にやはり関係して、いそしんで勉強する人もあるかも知れませんが、我々から見ては、やはり、道楽という具合に判定しますが、それが19名、半数以上の子どもがカセットラジオを持っている。それからテレビゲーム、先程ちょっとお話しがあつたようですけれども、これが8名ございます。

私は、わかりませんけれども、テレビゲームとは非常にはやっております、子ども達の話題になっております。それで、非常に高価なそうですけれども、大安売りで子ども達が多く求めたそうですけれどもテレビゲーム、これを持っているのは8名です。カメラが5名でございます。このうち兄とかお父さんから、ゆずりうけたのが4名で、新品で買ってもらったのが1名でございます。合計で、1クラス5名の子どもたちがカメラを持っているといった状態です。

それからテレビ、どこの家でも持っていると思いますが、いわゆる個人用で

す。個人用が5名おります。その中には、カラーテレビを持っている生徒が2名、中古2名ございます。今から30年も前においては考えることの出来ないような、子ども達の要求を家族の方が受け入れている、というような現状であるということを私は受け止めております。

もう一つは、押える力が少なくなった、この点については、やはり昔に比べると、現在の子ども達は非常に薄らいでいるんじゃないかということを考えております。だから、どこの学校もそうですが、忍耐力をつける為に、色々な事を考えております。マラソンをやったり、あるいは苦しいことにうち勝つ為の、根気力をつけるため、色々な事を考えているのが現状でございます。そういう面においてやはり昔の子ども達にくらべると、やはり押える力が薄くなっている以上申し上げましたように、感情が非常に高まっている、要求が多くなっている。押える力が非常に不足になっている、というような、現在の子どもであるという具合に、一断面から見た場合の私の考え方でございます。心理学者、あるいはそれぞれの立場において、現在の子どものいい点だけを取り上げて分理する方もございますけれども私は長い間、教員生活をしておりまして、この点について、子ども達に要求し、力をつけてあげなければならない！ と痛切に感じておるわけでございます。とりとめないことを申し上げますけれども、僅か10分でございますので、一応、簡単に申し上げまして、何か、みなさんの参考になればと思います。有難うございました。

◆ おとなへ 提言

三井直弥君

僕は、マンガが大好きです。それで、その値段について調べてみました。家にあったマンガ本を例にしてお話します。

ぼくは1年の時の本と5年の時の本を比較しました。すると、1年の時の本は250円で220ページ、5年の時の本は320円で200ページでした。このことからわかるように、年をへるごとに値段は高くなり、ページ数もへっていきます。

さらに、もっと古い時の本を調べてみようと思い、ぼくが生まれたころのマンガ本について調べてみました。すると、こんな決果が出ました。220円で250ページでした。これでは、ぼくたちが20才で60円で160ページ、32才で670円で100ページ。さらに60才になった時では1,160円でほんの数ページ、いや、そこまではいかないでしょう。これでは、マンガ本は、売れなくてつぶれてしまうのではないのでしょうか。

次に、他の本についても調べてみました。—世界文学全集—2さつを調べることにしました。1さつは、5年生の時の、もう1さつは、父が子供の時のです。調べてみると、父が子供の時の本は、380円で416ページ、ぼくが5年生の時の本は、1,250円で202ページでした。これでは、先のマンガ本と同じです。これでは、5年生の時本2さつ、つまり2,500円の中に父が子供の時の本6さつ、2,480円とほぼ同じことになります。

次に事てんについて調べてみました。1971年に買った国語じてんと、1977年に買った国語事てんと2つを比較してみました。1971年に買った事てんは、1,025ページで650円、1977年に買った事てんは、760ページで1,000円でした。今まで、マンガ本・文学全集・そして事てんと3つについて調べてきましたが、どれも年をへるごとに値段が高くなりページ数が少なくなっていきます。今、大人の人に止めていただきたい。そして、値上げというものをあまりしないでほしい。

大 嶋 成 希 君

ぼくは、テレビのニュースなどは、あまりきょうみは、ありませんが、ときどき気になるようなことをききます。それは、最近、ぼくは、よく石油ききという言葉を、テレビのニュースなどでききます。この石油というのは、ほとんどが輸入ときいています。

火力発電の燃料をはじめ、家庭燃料、自動車、バイクのガソリン、ビニール製品や合成せんいなど、生活していくには、なくては、ならないものだと思います。こういったものは、ほとんどが石油が原料、石油をつかっているという事を学習しました。

この石油は、もともとは、原油でその原油は、地中にあるもので、いつかは必ず資源がつかえてしまいます。そのうちの大事な石油がなにかのつごうで、輸入できなくなったら、どうなるでしょう。もし輸入がつづいたとしても、ぼくたちの先生が「石油は、はやければ2、3年、いくらせつやくしても20年、30年でなくなる」といっていました。

そうなったら大へんなことになってしまいます。そしたらぼくたちが大人になってからの、エネルギーは、いったいどうなるのでしょうか。もし今の大人が全部石油をつかえてしまったら、ぼくたちがつかう、エネルギーがなくなってしまいます。

しかし、今、新しいエネルギーとして、太陽熱、地熱、風力、波力などを利用したものが実験中ときいています。その実験が実用かされるのも間近だと思います。

それまでの間、昔のエネルギーであった石炭などを、利用するなど、大人の人たちは、残り少ない石油資源を大切にしてもらいたいです。

2小 6の3 早 坂 妙子さん

私が今日はなすことは3つあります。1つは子供たちのあそぶ場所が少ないと思います。二小では、ようちえんや、ほいくえんなどのグラウンドで遊んではいけない事になっていて、遊ぶ場所は所々にある町の遊び場と、赤川の所などです。

でも、赤川のへんでは子供が遊ぶより、大人の人たちが野球などをしている

時が多く、私たちは、学校のグラウンドで遊び事が多くなります。私は神明町なので、近くていいのですが、本町の友達などは、遠くてこまると思います。

本町のある人は、第2公園を広くしてほしいそうです。でなければちゅう車場で遊ぶしかないそうです。あるちゅう車じょうでは遊んでもいいとゆるしが出ているそうですが、とてもあぶないと思います。

次に交通事故のことで、車が多くなり、どこでも交通量も多くなりましたが、わたしが住んでいる、神明町でこんなことがありました。小さな十字路でキィーという急ブレーキの音がするたびに、外に飛び出し、小さな子供がひかれたのではないかと、一しゅん青くなります。それは車どうしの事故なのです。こんなことが6回ほどありました。そこには、標しきもカーブ・ミラーもありません。

そこで子供会や町内会からもたのみ、やっと一年がかりで一時的に止の標しきがたちました。ですから、もっと事故のおきる前に標しきや、カーブ・ミラーなどをつけてもらいたいと思います。

3つめは、このごろのニュースの中で私が考えたり、家の人たちとお話をしたりすることですが、小学生、中学生、高校生の人の自殺のことで。どうしてこんなことをするのか、私は、わかりませんが、たぶん一人でなやんでいたのではないでしょう。

お父さん、お母さんから文句をいわれてなやんでいるよりもっとおたがいに信らいしてのびのびと生活が出来れば、自殺などおこらないと思います。

私は毎日が楽しくて一度もそんな事を思ったことがありませんが、今のお父さんお母さん方が小さかったころはいったいどんな事を考えていたのでしょうか、と私は思いました。

◆ わたしたちの回り

6年4組 北 優子さん

このごろからわたしたちの学校でもインベーダーゲームと言うのがはやってきました。その前に、テレビゲームもありましたが、ああいうものは人の頭の中をむちゅうにさせてお金をたくさんもうけるものだと思います。わたしにとってはああいう物はあまりない方がいいと思います。それはあまりむちゅうになってムダ使いをするからです。それでわたし達のためになるものがほしいです。

たとえば本やわたしたちにわかりやすくせいじのことを、教えるニュースなどその他色々ほしいと思います。

次に新聞をひろげるとかならず何かの事故がおきています。ニュースにも出ていました。わたし達の学校では自転車のてんけんをしてそれに合かくした人だけ自転車にのられるステッカーをもらうのですが、しゅうりするといつてステッカーをもらってはなかなかしゅうりをしない人がいます。これではとてもあぶないです。

次に信号の無い所でおודんするとき、止まってくれる運転手さんも多いのですが、ときには止まってくれないらっぽうな人もいます。とまってくれるときなら相手の人も運転手さんも気持ちがいいのですが、止まってくれないとなると、あい手の人が気をわるくしてしまいます。

みんなが気をつけていれば事故などは無くなるでしょう。一日も事故の無い平和な日にくらせたらなあと思いました。

- ◎臨時総会—小松次期会長より新年度予算書について説明があり、年会費1万円の値上げにより年120,000万円の会費を全員認め、了承した。

◆ スマイル

佐藤友吉君—庄内支庁増築工事請負

出席報告

本日の出席	会員数	70名	欠席者	阿部(与)君、早坂(徳)君、半田君、五十嵐(三)君、市川君、板垣(俊)君、玉城君、黒谷君、小池君、高橋(耕)君、三井(徹)君、森田君、板垣(広)君、斎藤(利)君、佐藤(友)君、丹下君、津田君、富樫君、金沢君、熨斗君、石原君
	出席数	49名		
	出席率	70.00%		
前回の出席	前回出席率	70.00%	メア ッ クラブ	早坂(源)君—酒田R.C 飯白君—立川R.C 笹原君—仙台R.C 市川君、黒谷君、佐藤(忠)君、佐藤(衛)君、鷺田君、佐藤(友)君、菅君、富樫君、宮沢君—鶴岡西R.C 三井(徹)君—海外R.C
	修正出席数	62名		
	確定出席率	88.59%		